

国語(助詞④)

主に文の終わりに付いて、話し手の気持ちなどを表す助詞を終助詞という。

⑥ 次の文の終助詞に「」を書こう。

① その本を読みな。

② いっしょに行こうね。

③ 弟よ、がんばってくれ。

④ それを貸してくれないかしら。

⑤ 次の「」線部の中で、同じ意味用法のものを二つ選ぼう。

ア 彼女も行くだろうか。

イ なるほど、そうだったのか。

ウ そんなことがああるものか。

エ これは彼が書いたのですか。